



義務教育学校 第8学年
第26号
平成31年3月20日発行
タイトル 音ドラ垂れ幕
原作画 8-B

「走れ 8年生！」

8学年主任

「走れメロス」。8年生の国語の集大成とも言える物語の単元です。シラクスの街で暴君ディオニスに激怒し、人質に差し出した親友セリヌンティウスを救うために走るメロス。王城に向かって走るメロスに様々な困難が起こりますが、友情や王との約束のためではなく、「私は、なんだか、もっと恐ろしく大きいものの為に走っているのだ」と王城まで走り抜きます。

3月13日からの3日間の修学旅行は、思うにメロスの3日間と重なるところが沢山ありました。もちろん約束の時間に遅れないように、仲間の信頼に報いるために走ったなんて単純な話ではありません。また、創作音楽ドラマの発表や交流活動の困難を乗り越えたというだけでもありません。メロスと同じように、初めは、実行委員が提案したから、交流先で発表できないと恥ずかしいから、音ドラの校内発表で先輩や後輩にレベルの低いものは見せられないから、など自分の価値観だけで活動していた人が多かったと思います。しかし、修学旅行という大きな活動を経て、子どもたちも、これまであまり意識していなかったであろう、自分の「夢限の翼」の存在や「大きな力」を秘めていることに気づいたのではないのでしょうか。また、校外の多くの人との関わりを持つ中で、仲間を認めたり、助けたり、教えられたりしながら、ものごとを一緒に考えて、よりよいものを創り上げていくことの意味や価値を実感したように思います。修学旅行中の子どもたちの表情や「楽しかったー」の言葉に、自分で納得のいく活動ができたことを感じることができました。僅か1週間の練習で校内発表まで漕ぎ着け、そこから試行錯誤を重ねて全員で完成させた音ドラ。リハーサルではダメ出しの連続で、過度の緊張の中始まった交流。ほとんどの子どもたちが、ラウンドテーブルで、他者と話すことの本当の楽しさを味わいました。また、編集委員が熟考を重ねて第一稿を完成させた「ハローワーク」の内容にもとても関心を持っていただき、文部科学省では「この本もらえませんか」と声をかけていただきました。夕食後の講演会では、時間が来ても途切れない核心を突いた質問に、講師の方も熱く応えて下さいました。研修活動でも予定時間を延長してのインタビューや調査活動が行われた班も多く、「研修先でいい話が聞けた。この人に会えてよかった」という声もありました。小さなことでもこだわりをもって、何の為にそれをしているのかということ、子どもたち自身が考えて、その意味や価値を見出していくところに8年生の「大きな力」が生まれていることを確信します。

最後、メロスの姿を見ていた王ディオニスにも、大きな変化が起こります。たった3日間で王の気持ちに変化するなんて本当だろうか？という疑問がありました。みなさん、本当です。たった3日間の修学旅行は、教員の杞憂や期待の裏にある不安、また、8年生に対する（ちょっとおとなしい学年という）概念を見事に一掃してくれました。氾濫した川にたどり着くまでのメロスのように、呑気にゆっくり歩いているようにみえた8年生でしたが、修学旅行を機に、なんだか、もっと恐ろしく大きいもののために、走っている（走り出した）人が大勢いることを実感しました。授業で、「最後の場面でメロスは真っ裸になっている。自分の正義で走っていたメロスが真っ裸になるということは、メロスの固定概念が丸裸になったということではないか。プライドも自分だけの正義も脱ぎ捨てた状態だ。自分の殻やエゴを脱ぎ去った。緋のマントを着たのは、自分をさらけ出している状態から、新しい自分になるということだ。」という意見がありました。走りきった先の新しい自分に出会うために、自信をもって、「走れ8年生」。

なお、今年度も子どもたちの学校生活や活動におきまして、保護者の皆様の多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、8年生の教職員一同、心より厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました。

平成 31 年度前期生徒会役員立会演説会

3月4日（月）の5・6時間目に、北体育館で平成31年度前期の生徒会役員立会演説会が行われました。今回は9年生からのバトンを受け、8年生から5名の生徒が立候補し、公約を含め意気込みを堂々とした態度で演説しました。演説の後には新しい試みとして、立候補者と責任者によるディスカッションも行われ、自分たちが附属のためにこれからやっていきたいことを、改めて捉え直す貴重な時間となりました。今回は定数通りの立候補ということで、信任投票となりましたが、8年生を中心とした新しい生徒会の活躍がこれから楽しみです。



平成31年度前期 生徒会役員

会長	(8C)
副会長	(8A)
	(8A)
書記長	(8A)
会計長	(8C)



全校研修会

3月7日（木）の2時間目、生徒会主催の全校研修会が行われました。7～9年生の縦割り小グループで、学Pについて議論しました。7・8年生は、これまでの学Pをふり返って、学Pの意義や現状、課題等を、自分の思いも交えながら、小グループで語りました。9年生からはこれまでの3年間の学Pをふり返って、後輩に伝えていきたいことなどが語られ、学年を超えて、学Pについて改めて見直す貴重な時間となりました。



修学旅行

1日目は横浜クイーンズスクエアで創作音楽ドラマ、4つの会場に分かれての交流活動、夕食後のNHKプロフェッショナルディレクターによる講演会、2日目は班別研修活動、ディズニーシー、3日目は東京大学で東大生との交流という日程で、充実した修学旅行となりました。「職業」について深い学びができ、楽しい思い出もたくさんできました。ここまで中心になって創り上げてくれた修学旅行実行委員のみなさん、ありがとうございました。

横浜クイーンズスクエアにて

創作音楽ドラマ「一想—あなたにとって職業とは何ですか？」



修学旅行 活動ショット



交流

講演会



研修

Disney



東大生との交流